

対象学年	1 学年	科目名	コミュニケーション	担当名	庄司 克史
対象学期	前期		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数

到達目標	言葉 + 言葉以外の8つの要素でコミュニケーションを「見せる化」することで、円滑な双方向コミュニケーションに必要な相手の心のくみ取り力を向上させ、積極的な聴く力を身につけ、思いやり・気配り・おもてなしを見せる化し、表現力のあるコミュニケーションが出来ること。
学習内容	ウェディング・ブライダル・ホテル業界で求められる言語および非言語コミュニケーション力を身につけ、現場での即戦力になり、周りから愛される人材になるためのコミュニケーションの基礎知識と心理、考え方を学ぶ。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	知識として学ぶだけではなく、生活や授業、実習先でアウトプットすることを意識すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	言語以上に伝わってしまっている非言語の重要性を認識させ、非言語の8つの要素を具体的に理解する	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
2	非言語の要素と照らし合わせ、相手の心・感情をくみ取るトレーニングにより非言語で心・感情を分析出来る	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
3	傾聴Ⅰ 相手の話を聴くトレーニングで、「聴いています」を非言語の要素を使い、心の姿勢を「見せる化」することが出来る	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
4	傾聴Ⅱ 非言語での「見せる化コミュニケーション」において、伝えたい「心の姿勢」を、体の姿勢で見せる化することが出来る	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
5	傾聴Ⅲ 表情を意識した傾聴トレーニングにより相手に共感の感情を伝えることが出来る	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
6	声を表情と連動させ、声の抑揚と表情で、相手の感情と共感する心を伝えることが出来る	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
7	自分を肯定し、相手も肯定する自己表現により、相手とのコミュニケーションを円滑化することが出来ることを理解する	コミュニケーション教育協会資料	日常生活や他の授業時間にも、非言語と見せる化を意識すること
8	9つの表現要素の具体的な使い方をイメージし、表現を意識することが出来るロールプレイングの実施	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
9	傾聴トレーニング1 職場や現場を想定した、傾聴トレーニング。テーマに合わせたシチュエーションでの傾聴ロープレ(表情と姿勢と声)	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
10	傾聴トレーニング2 職場や現場を想定した、傾聴トレーニング。テーマに合わせたシチュエーションでの傾聴ロープレ(声のトーン・会話のスピード・身振り手振り)	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
11	共感トレーニング 職場でのスタッフ間、お客さまとのコミュニケーションで、相手の心とどう共感出来るかのロープレ(9つの表現要素での共感表現の仕方)	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
12	自分がなりたい自己像を知る。セルフイメージの自己分析	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
13	自己表現カトレーニング 自己紹介・プレゼンを短い時間で簡潔に伝える言語の使い方を身に付ける	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
14	9つの表現要素をフルに意識し、相手に好感を与え、関心共感を分かりやすく、見せる化することが出来るロープレの総集編の実施	コミュニケーション教育協会資料	実習や現場での非言語実践
15	定期試験 コミュニケーション3級検定試験	コミュニケーション教育協会資料	配布プリント内容を確認する